

すみよい深谷市をつくるために

ちゅう じょ
忠 恕

第10号
令和3年1月

サンコンさんと語る外国人の人権

予定していた「ふかや・ふれあい人権セミナー」が、新型コロナウイルスの感染拡大のため、中止となりました。そこで講演会の講師をお願いしていたギニア共和国・元駐日親善大使でタレントのオスマン・サンコンさんを令和2年10月23日（金）に深谷市役所にお迎えし、市長との対談及び深谷市人権教育推進協議会との懇談会を行いました。サンコンさんの体験を基に、「外国人と人権」について貴重な話を聞くことができました。

市長との対談

市ホームページにて動画配信中

深谷市が導入したタブレットによる遠隔通訳の体験や深谷市特産のねぎを使った和菓子の試食を交え、和やかな雰囲気で行われました。



小島市長 7月27日にオープンした新庁舎にお迎えでき、とてもうれしく思いますし、心待ちにしていました。

サンコン氏 私も、渋沢栄一翁と歴史ある深谷市を訪れることを楽しみにしていました。

小島市長 サンコンさんは日本に来てどのくらいになりますか？

サンコン氏 はじめて日本に来たのは昭和47年、1972年です。日本にはギニア大使館がなかったので、大使館を作るために来ました。

小島市長 日本語の勉強はされていたのですか？

サンコン氏 全くゼロからの出発でした。日本に来てから、日本語学校に3年間通い話せるようになりました。

「書かない窓口と遠隔通訳システム」

小島市長 深谷市では、新庁舎になるにあたり、新しく2つのことを始めました。1つ目は、「書かない窓口」です。職員が口頭で市民の申請内容をお聞きし、システムに入力し、書類を打ち出して内容を確認のうえ、サインしてもらい終了です。

サンコン氏 進んでいますね。

小島市長 外国の方にとっても、たいへん便利だと思います。2つ目として、「タブレットを使った遠隔通訳システム」の導入です。オペレーターを呼び出し、対面で通訳をおこなうので、13言語に対応しています。ぜひ、実際に体験してみてください。

遠隔通訳システムの体験



サンコン氏 びっくりした！これ最高！見たことないです！外国人が一番困っていることが日本の役所での手続きです。難しいし時間がかかります。これがあればとても便利です。さすが人権のまち深谷ですね。

「深谷は栄一翁と農業のまち」

小島市長 サンコンさんは、日本と

アフリカとの国際交流に努めてこられました。実は、渋沢栄一翁も国際交流に尽力された方です。アメリカや中国に行き、交流を深めました。

サンコン氏 とても勇気がある方です。渋沢栄一翁は世界的なヒーローだと思います。深谷のみなさんは彼をお手本にして世界に深谷をアピールして行ってほしいですね。

小島市長 本当にそうですね。ところで、サンコンさんは帝国ホテルに滞在されたと聞きましたが、帝国ホテルも栄一翁が^{ほっきにん}発起人です。



サンコン氏 そうだったのですね。私は帝国ホテルを仮の大使館としていたのですよ。ところで、深谷は街がとてもきれいですね。緑もいっぱいです。農業が盛んだと聞きましたが。

小島市長 深谷は農業が盛んで、関東の台所と言われています。サンコンさんは普段の食事は日本食ですか？

サンコン氏 そうです。日本食は何でも食べます。ギニアの主食もお米です。深谷のシンボルのねぎも大好きです。深谷特産のとろろ芋はギニアにもあります。

ねぎを使ったお菓子を試食



「人権は人と人、心と心のつながり」

サンコン氏 私は日本語の「義理と人情」という言葉が一番好きです。

小島市長 やはり大切なのは人対人ですね。今回コロナによる差別がある中で、特に心が大事だと感じます。

サンコン氏 一時期、アメリカのワシントンで仕事をしていたのですが、日本では感じなかった差別を強く感じました。深谷は人権に力を入れていて、住みやすいのでこれからもっと多くの外国の人が来ますよ。

小島市長 以前、近所に住む外国

の方に声をかけました。最初は戸惑いもありますが、些細なことで仲良くなれるものです。人権は決して難しいことではないのです。やはり心と心のつながりが大切です。これからもっとグローバルに差別意識のない世の中にしたいですね。

サンコン氏 それが一番いいですよ。今日来て、深谷の取り組みがこれからのグローバル化に必要なだと感じました。私たちのこれからの仕事は、この素晴らしい大和の国、日本をもっとアフリカに紹介することです。アフリカの人に日本人の勤勉さや良いところを伝えていきたいと思います。



懇談会

深谷市人権教育推進協議会 出席者

会長 吉澤 正則(人権擁護委員代表)

副会長 宮坂 浩平(自治会長代表) 副会長 河田 英雄(民生児童委員代表)

副会長 南 初枝(婦人会長代表) 副会長 島崎 祐子(小中学校長代表)



「日本語と日本食に四苦八苦」

吉澤氏 大使館設立のために来日されたとお聞きました。言葉はもちろん苦勞されたかと思いますが、その他に習慣の違い等で、苦勞されたことはありますか？



サンコン氏 はじめて来日した時は、日本語や習慣など全く分からなかったです。日本語はかなり難しく、実は今でも、読むのは苦手です。漢字は読めません。

それと食事でも苦労しました。「箸」は、どうしたらよいのかわからなかった。あと、ギニアでは生ものは食べません。イスラム教なのでお酒も飲みません。水かと思って飲んだら日本酒だったことがあってショックでした。言葉と食事、この2つに慣れた後は、日本で楽しく生活できました。

「あ、いるいる、黒人」

宮坂氏

1972年来日
当時は、生活
の中で外国人
をほとんど見
かけませんで



した。私も外国人は皆同じに見えてしまいました。珍しい外国人ということ、特別な目で見られたことはありますか？

サンコン氏 当時の日本人には黒人が皆同じに見えていたようです。私はウィッキーさんや元プロ野球のクロマティー選手に間違われました。当時街なかを歩いていて、「あっ、いるいる。黒人。」と指をさされました。今では、外国人も増えたので、指をさされることもなくなりました。

「日本の発展は速い!」

河田氏

サンコンさん
から見て来日
当時と比べて
日本はどう変
わったと思っ
ていますか？



サンコン氏 来日した時、高層ビルは霞が関ビルだけでした。今はどこにでもある。日本の発展は速いです。私の聞いた中で、敗戦国でこれだけの国はない。外国人は皆そう思っています。日本人は勤勉ですね。橋を架ける工事など日本ではすぐ終わりますが、アフリカでは2、3年かかります。バブルもありましたが急成長するのをずっと見てきました。今はコロナでストップがかかっていると感じます。アフリカではエボラ出血熱が流行して大変な時もありましたが、日本企業の協力もあって今は無くなりました。コロナもそういう日がきつと来ます。

「一番の違いは言葉の教育」

島崎氏

ギニアの教育
と日本の教育
には違いがあ
りますか？ある
とするとどのよ
うな点ですか？



サンコン氏 昔、ギニアでは男性だけが教育を受けていました。私の母親は学校に行っておらず、文字を読んだり書いたりできませんでした。今では女性も教育を受けています。ギニアも6・3・3・4年制です。小・中・高までが義務教育です。日本との一番の違いは言葉の教育です。ギニアでは生まれた時、部族の言葉を教わります。小学校に入るとフランス語か英語。小学校に入って自分の部族の言葉を話してはいけません。高校に入ると英語かスペイン語を学びます。ギニアだけでも16部族います。私の部族はスースー語、他の部族の言葉は通じません。

日本は幼稚園からずっと同じ日本語で、楽ですね(笑)

「テレビ出演はギニアのPR!」

南氏

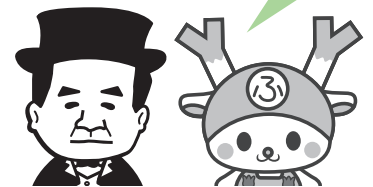
サンコンさん
と例えば、「1コ
ン 2コン サン
コン」という



言葉を思い浮かべます。多くのテレビ番組に出演し、外国人タレントの草分け的存在でした。私も当時楽しく拝見させていただきました。テレビ出演に関して、大変だったこと、楽しかったこと等お聞かせください。

サンコン氏 テレビに出たきっかけは、誰もギニアの事を知らなかったことです。ギニアのことを知ってもらうためにはテレビ番組に出てみたらと勧められ、オーディションに行きました。「外交官がうちの番組に出るの?すごいな、ぜひ!」ということで出演が決まりました。そこで「1コン、2コン、サンコン」というギャグが生まれました。その後は知名度も上がり、街中で「サンコンだ」と声をかけられたり、サインや写真撮影を求められたりするようになりました。いろいろありましたが、ギニアのことを知ってもらえて良かったです。

懇談会終了後、渋沢栄一記念館を訪問しました。参加者全員で渋沢栄一アンドロイドによる講義を聴講しました。



EIICHI & FUKKACHAN



人権啓発ポスター一會長賞受賞者決定

深谷市人権教育推進協議会では人権週間（12月4日～10日）の行事として、Lフォルテ（アリオ深谷店3階）において、市内小中学校児童生徒による人権啓発ポスター展を開催しました。応募作品全29点の中から、会長賞・副会長賞・入選作品を選びました。期間中は、たいへん多くの皆様にご覧いただき、ありがとうございました。



小学生の部 ^{みかぜ} 横山心吹さん
(桜ヶ丘小学校)



中学生の部 新井うたさん
(花園中学校)

あなたの 新型コロナウイルス感染症から体と心と社会を守る

人権意識度チェック

今、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、偏見や差別、様々な場面での心ない言動が広がっています。あなたは、周囲への思いやりをもって行動できていますか？

振り返ってチェックしてみましょう！

チェック1 感染した人やその身近な人は悪くない。責めたりせずに、優しく接したい。

チェック2 私が家で過ごしているときも、日常生活を支えるために外で働いてくれる人がいることに感謝している。

チェック3 インターネットやSNSの書き込み、人から聞いた話はすぐに信じず、公的機関の情報を確認している。

チェック4 偏見・差別は、感染への不安や、不自由な生活へのストレスから生まれる。前向きに過ごすことが大切だ。

チェック5 感染症の収束に向けて、周りの人への思いやりや感謝を忘れずに過ごしたい。

あなたは全て当てはまった？

お気軽にご相談ください

人権に関する相談窓口

☎ みんなの人権110番 …… 0570-003-110 ☎ 子どもの人権110番 …… 0120-007-110
☎ 女性の人権ホットライン …… 0570-070-810 ☎ 外国語人権相談ダイヤル …… 0570-090911
(Foreign-language Human Rights Hotline)

新型コロナウイルスに感染した人やその家族、治療にあたった病院関係者等に対する誤った情報や認識に基づく不当な差別・偏見・いじめ等があってはなりません。不確かな情報に惑わされ、人権侵害につながることはないよう、公的機関の提供する正確な情報を確認いただき、冷静な行動をお願いします。

左の図で、あなたの思いやりの心をチェックしてみてください。

困ったときには、一人で悩まず相談してください。

発行：深谷市・深谷市教育委員会
深谷市人権教育推進協議会
編集：すみよい深谷市をつくるために
忠恕編集委員会
事務局 深谷市協働推進部人権政策課
☎ 048-574-6643

*出典 新潟県人権啓発活動ネットワーク協議会